

# 介護部会 県西ブロック会議 報告書

実施日	令和5年6月8日(木) 14:00~15:30
会議実施会場	ZOOMによるリモート会議
参加施設・人数	6施設9名 ニューライフ湯河原・あじさいの郷 わかば・にじの丘足柄・リバーイースト デンマークイン箱根
書面参加	水之尾・悠久

議事項目 新型コロナウイルス5類移行後の対応

ディスカッション内容：①新規入所時の抗原検査・PCR検査実施の有無  
②面会の有無や実施方法  
③同居の家族が罹患した職員への対応  
④利用者、職員のマスクの着用

## A 施設

- ① 症状がある時のみ医師の指示に従い抗原またはPCRを実施。
- ② 原則、対面面会。面会者は高校生以上とし一日3組まで。また一組の人数制限は4名までで面会時間は30分以内となっている。面会者には、氏名・検温・感染が疑われる症状の有無や身近な方に症状が出ていないかなどのチェックシートを実施。実施後、マスク着用と手指消毒に協力してもらい一階の面会室でアクリル板を設置して行っている。また面会時には十分な換気を行ない、終了時には消毒を徹底している。
- ③ 症状がない限り出勤可能。出勤時はレベル3マスクとサージカルマスクを2重で着用し、こまめな消毒を徹底。症状がある時は抗原検査を実施し上長へ報告する。
- ④ 利用者のマスク着用に関しては本人の意向で決めるが、陽性者が出た場合や感染が疑われる症状がある場合は装着してもらう。職員に関しては継続してマスクを着用している。

## B 施設

- ① 入所時は自宅にある検査キットを使用してもらうが、自宅での実施が困難である場合や検査キットがない場合は施設の一階で抗原検査を実施。PCRは実

施していない。

- ② 一日 3 組までだが小学生以下はお断りしている。一組の人数制限は 2 名までで面会時間は 10 分程度となっている。面会は一階の全体室で陰圧装置とアクリル板を設置し家族・利用者ともにマスクを着用のうえ実施している。
- ③ 3 日間の自宅待機後、抗原検査を実施し確認する。
- ④ 利用者は希望者のみ。症状が確認された場合は、施設側でマスクを配布する。また陽性者が出た場合はカーテン隔離を行ないできる限りの導線を確保し介助を行なう。

#### C 施設

- ① 入所時は抗原検査と PCR 検査を実施している。
- ② 面会の人数制限はなく 14 時から 16 時までの間、一組 30 分で一階の食堂にて実施。ターミナルは居室で面会できる。

#### D 施設

- ① 入所時に抗原検査を実施。
- ② 令和 5 年 6 月より 1 F にて対面面会で一組 10 分程度実施。飲食は差し入れのみで、面会時の飲食はお断りしている。
- ③ 職員は抗原検査と PCR 検査のダブルチェックを実施。
- ④ 利用者・職員ともにマスクは継続して着用している。

#### E 施設

- ① 入所時に抗原検査を実施する。
- ② 面会は事前の予約が必要。基本、1 F レクルームでマスク着用にて実施するが個室を利用している利用者に関しては居室で対応する。人数は 3 名(中学生以下も面会可能)までとなっており時間は 15 分程度で飲食は禁止となっている。面会時、アクリル板の設置はしていない。
- ③ 罹患者と最終接触 2 日後、検査が陰性で症状がなければ出勤可能となる。
- ④ 利用者のマスク着用に関して、5 類移行後は希望者のみとなっている。

#### F 施設

- ① 入所時に抗原検査を実施する。PCR は行なわないが入所から 3 日間は居室対応としている。
- ② 面会時の一組の人数制限はないが一日 4 組までとし、ガラスで仕切られた面会室でマスクは着用せず実施している。面会時間は 15 分で差し入れは控えてもらっている。今後は、各フロアでの面会を検討している。
- ③ 1 w 抗原キットセルフで実施。
- ④ 利用者のマスク着用は希望者のみとなっている。

## G 施設

- ① 抗原検査・PCRともに、何もない限り検査は行なっていない。
- ② 一階の通所スペースで双方マスクを着用し対面面会を実施している。
- ③ ・④神奈川県高齢者福祉施設における対応の手引きに基づき対応する。  
発熱等の症状が出た場合は、施設から配布される抗原検査キットを使用する。

## H 施設

- ① 医療機関経由の入所は検査をしない。在宅や施設経由の入所やショートステイ利用時は抗原検査を実施している。なお、ショートステイに関しては家族へ検温表を渡しており、利用数日前から検温測定及び風症状の有無を記録していただいている。
- ② 令和5年6月より面会の制限が緩和。一家族、月一回とし一日6組まで面会が可能。面会時間は15分程度で一組2名までとなっている。
- ③ 毎日の検査で陰性が確認できれば勤務継続可能となっている。
- ④ 利用者が食堂に来られる際には、マスクの着用をお願いするが強要はしていない。職員のマスクは令和5年6月よりN95マスクからサージカルマスクへ変更となっている。

## フリートーク

### ○新型コロナウイルス5類移行後のレクリエーションについて

- ・5類移行に伴い塗り絵やハガキ・手紙・脳トレ等の個別対応からカラオケや外散歩等、少しずつ集団で行なえるようになってきた。今後、大きな行事開催も検討している。
- ・コロナ禍にレクリエーションができなかったことで、職員がその環境に慣れてしまったのか、できない・やらないが当たり前になってきている。

### ○コロナ禍での職員の意識変化

- ・コロナ禍での業務により職員のストレスが溜まるなかで、自粛により交流できる場にも行けずストレスを解消できないことから口調がきつくなる等、接遇面での課題が出てきた。また、家族の出入りがなくなり職員主体なったことも原因の一つとして挙げられる。

上記の内容から次回の議題は

「接遇に関してどのように取り組みを行っているか。また取り組んだことでど

のように変化したか」とする。

次回 9 月開催予定  
司会、書記担当  
ニューライフ湯河原